

TNC
通信

2014
8月号

ブルーベリー交流会行う



《富谷日中の皆様へ》

東北大学留学生 任希さんから

「昨日は小雨だとはいうものの、私たち留学生一同はすがすがしい気分で摘み取りと交流を楽しんでいました。また日中友好協会の皆さまとの楽しい話し合いを通して、皆さまの親切さは、異国でいる私たちに暖かさを与えて下さいました。日中友好に力を尽くしている皆さまの姿を見て、大変感心しながらも、私たちは自分の責任の重さを感じました。これからも日本の知識と文化をきちっと勉強し、留学生生活を大切にしていきたいと思うと同時に、皆さまとの交流を深め、できるだけ力で日中友好のために頑張っていきたいと思っております。末筆ながら、今回の交流のためにいろいろ準備していただいた方々に再び心から感謝の意をいたします。皆さまのご健康と多幸を心よりお祈りいたします。

仙台地区中国学友会及び留学生一同〈了解を得てメールをそのまま掲載しました〉



小雨がちらつく、あいにくの天候でしたが、7月20日、第2回となる「ブルーベリー交流会」が行われ、8人の留学生を含め20名が参加しました。午前中は明石の「高橋つみとり農園」で摘み取りを体験、午後からは「大黒澤苑」で昼食・懇親会がもたれました。懇親会ではデザートにコーヒーとブルーベリーのスイーツも用意され好評でした。またカラオケもあり、大いに盛り上がりました。更に新会員・松井さんの篠笛の演奏も大拍手でした。茶室の見学の後、記念撮影を行いました。皆さん、大変ご苦労さまでした。

「植林事業視察 5日間」

県協会が主催し3年間植樹してきた九台市の生育視察と明年から実施予定の農安の視察そしてハルビン、長春で観光と交流を行います。

◎期間 9月3日(水)～7日(日)

◎行程 仙台—新潟間はバス

◎代金 約15万円(サーチャージを含む)

◎詳細は河北トラベルか水戸まで

仙台の“魯迅”を歩く⑤



休みの日や授業後等、周樹人は何をしていたのか、興味あるところだ。たばこは吸っていたという。「リリィ」という銘柄。服装はインパネスという外套ではなかったようだ。下駄は、はけず靴だった。さて桜小路を北上すると、一番丁に続く。南町通りはにぎやかで角には「仙臺座」があったが「医専生がよく行ったのは森徳座の立ち見席である。観客の中に周樹人の顔を見かけることがあった」。現在の三越側で、向かい側は虎屋横丁。新派劇を中心に歌舞伎なども興行。東北大北門から1^{キロ}、15分程だ。

「村から都市へ」大坂猛写真展

吉林省九台市での植林事業に参加した大坂氏の眼で見た中国の写真展です。ぜひご覧ください。

8月29日～9月3日迄。一番町南町通り角の東北工大一番町ロビー(723)0538で。

今月の
一冊

「中国絵画入門」(宇佐美文理著、岩波新書、907円)

中国絵画に関心はあるものの、見方とかあるものなのか、という疑問に答えてくれそうに手にした。「主な作品130点を収録」のフレーズも誘い水に。

著者は絵画の基本的要素は“形”だが中国絵画には“気”が加わるといふ。歴史を追いながらの解説を読み進め、本書を“観賞する”しかない。正直、難しかった。

漢代の祠(ほくら)の石拓本から始まり、敦煌壁画をへて、五代から宋代における山水画への流れの中で、牧谿(もっけい)の光の風景にふれることができた。また元末四大家そして明代の爛熟期と続くなか、著者は清代を伝統絵画の終焉ととらえ、西洋画及び日本画の影響を指摘する。

本書のねらいは“よし一度、見に行ってみようか”と思ってくれること、という。まさにそのような、芸術の秋を迎えたいもの。